

さいたま市長メッセージ（令和2年11月11日）

皆さん、こんにちは、さいたま市長の清水勇人です。

全国各地で陽性者が増加しています。11月5日から7日までの3日間で、国内の一日当たりの陽性者数が、1000人を超える日が続きました。特に7日は1300人以上の陽性者が確認され、最も多い陽性者が出た8月中旬に迫る水準となっています。

本市では、11月9日までの1週間に、1346件の検査を実施し、これまでに最多となる68名の新規陽性者が判明しました。

更なる感染拡大を防止するため、複数のクラスターが発生した大宮南銀座地域では、接待を伴う飲食店の従業員を対象とした臨時PCR検査を実施しています。11月10日時点で、591名の検体を回収し、8名の陽性者が発生しています。迅速に調査を行い、接触者等の検査に繋がっていきます。

本市は、冬の流行期に向けて、身近な医療機関で季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の両方の診療、検査に対応できる体制を整えています。

市立病院では、旧病棟を活用し、発熱外来を設置し、一般外来患者と発熱患者の動線を分離します。一般外来への感染を防止するとともに、発熱外来に十分な待合スペースを提供し、安心して受診できるようにします。

加えて、これまで感染拡大ピーク期に40床としていた新型コロナウイルス感染症の病床を、最大50床確保できるように調整し、インフルエンザと新型コロナウイルスの両方の感染拡大に備えた体制の整備を進めています。

す。

繰り返くしかえになりますが、本市ほんしを含ふくめ、国内こくないの新規陽性者数しんきようせいしやすうは増加傾向ぞうかけいこうにあります。市民しみんの皆様みなさまは、感染かんせんリスクがたかまる「5つの場面ばめん」を避さけ、基本きほん的な感染症かんせんしょう対策たいさくを徹て底ていしていただきおもたいと思います。